

令和5年度 諏訪市総合教育会議

～「誰もが輝き 誰もが幸せ 新たな時代を切り拓き つながり続ける学びの和」～

日時 令和6年1月24日（水） 午前10時00分

会場 諏訪市役所5階 大会議室

【次 第】

1. 開 会

2. あいさつ

- ・ 市 長
- ・ 教 育 長

3. 議 題

1 「諏訪市教育大綱に基づく令和5年度の取組について」

(1) 未来創造こどもゆめプロジェクト実践報告

(2) ゆめスクールプランに基づく小中一貫教育の取組

(3) 単元内自由進度学習の取組

(4) ゆめスクールプラン南部地区推進委員会の検討状況報告

2 意見交換

3 その他

4. 閉 会

協働と探究！ 令和5年度 すわ未来創造 「子どもゆめプロジェクト」第1期

令和5年度 諏訪市教育委員会
すわ未来創造
子どもゆめプロジェクト
「ゆめプロ」
第1期生のメンバーを募集します
募集の締め切り日
4月25日[火]

自分たちが住みたい“まちづくり”を、小・中・高校生が一緒に考えて考えます！
その第1期の（皆さんの）テーマは、「ゼロカーボンシティの実現に向けて」です！

- 5月13日(土) 初回(第1期)は、すわっチャオで、これから一緒に「ゆめプロ」で活動する仲間とキックオフイベント！を行います。
- 11月25日(土) 第1日 市長、教育長に自分たちの考えを提案します。

皆さんの活動のお手伝いをしていきます

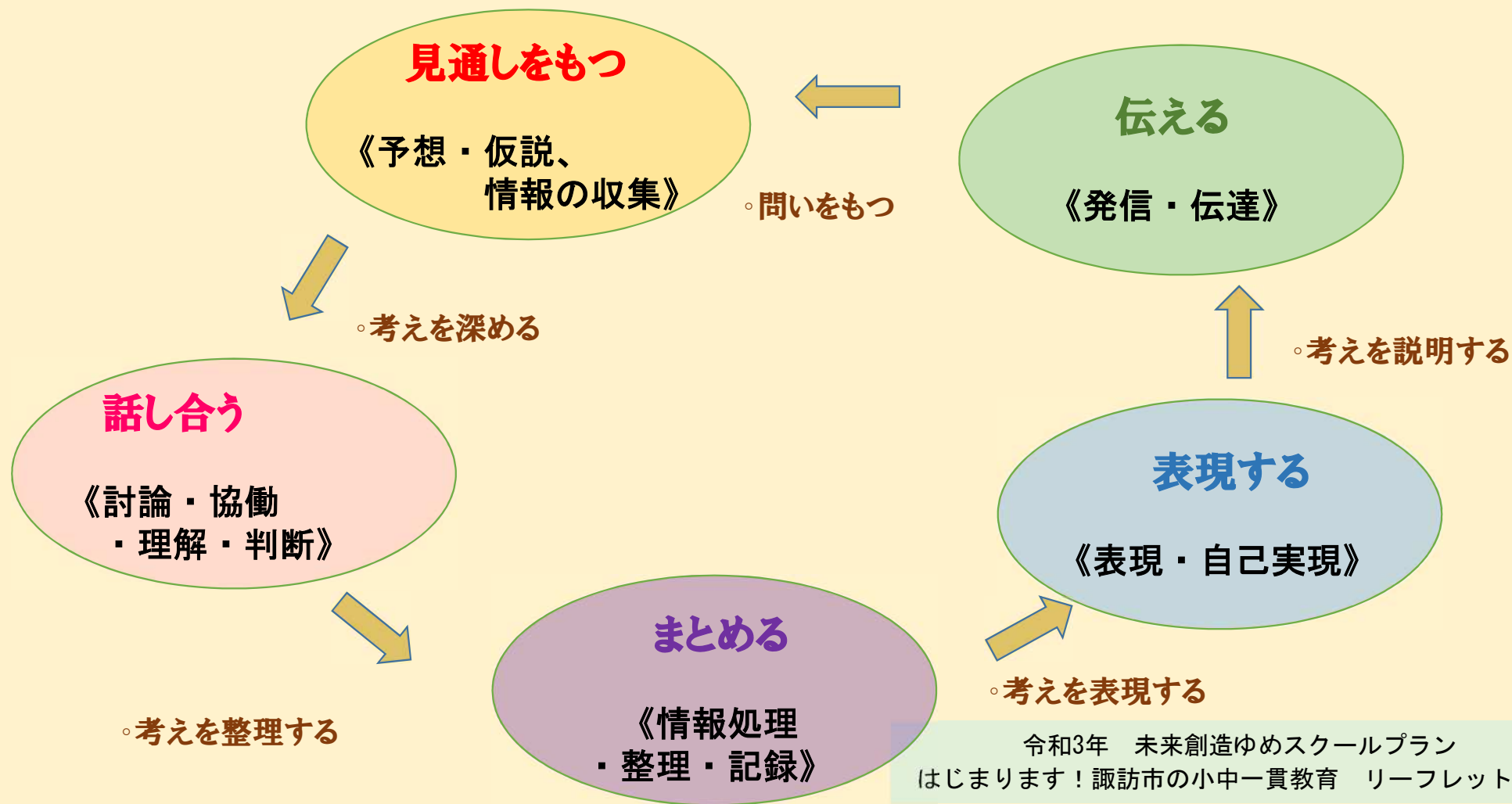
- アドバイザー 信州大学准教授 尾井美津留さん
- アドバイザー 諏訪大学准教授 山田隆幸さん
- 高校生サポーター 諏訪市内の高校の皆さん
- 諏訪市団体の皆さん、市役所職員 など

問い合わせ 諏訪市教育委員会事務局総務課
TEL: 52-4141 (内線469) EMAIL: kyokui@city.suwa.lg.jp
ポスター制作協力: 長野県諏訪清陵高等学校 美術部

「これからの社会のつくり手として、小中学生が地域を知り、自分なりの問いを立てて、協働しながら探究し、諏訪市教育大綱が目指す“学びの和”を創る。」

諏訪市・諏訪市教育委員会

「伝えあう力」を育む、5つの基本的なプロセスを含むサイクル



☆ “初めて知ること、もっと知りたいことが、 沢山でできました！”

- ・ 「諏訪湖や霧ヶ峰でのフィールドワークを通して色々なことを考える切っ掛けとなった。」
- ・ 「違う学校や学年の人と仲良くなるとても良い機会になった。」
- ・ 「高校生サポーターの皆さんがいることで、良い案ができた。」
- ・ 「資料の作り方やプレゼンのし方を学べて、プレゼン力が身についた。」
- ・ 「学校では経験できないことを経験ができた。」
- ・ 「新しい答えを導く、喜びを感じることができた。」



修了式を終えて、笑顔あふれる
メンバー、高校生サポーター

☆ “小・中学生と同じ目線で伴走ができ、共に成長することができた！”



- ・柔軟な考え方、何かに縛られない考え方に触れ、より自分たちの優位性(考え方・調べ方)との上手な融合の方法について考えられた。
- ・小中学生の大いなる可能性に気付く機会となった。
- ・世代を超えたコラボレーションのチャンスが増えれば嬉しい。
- ・小学生の考えや気持ちを上手に引き出すためには、話題等の工夫が必要と思った。
- ・メンバーと共に成長できた。

☆ “自分の地域、日本、世界に目を向け、課題を持ち、もっと良くなれる工夫が出来る大人に！”



フィールドワークやブラッシュアップに保護者も一役

- 自分のテーマのまとめ方や効果的なプレゼンテーションの方法などレクチャーがあり、高校生サポーターからのアドバイスをもらいながら発表まで行きつく事ができました。そして、自分の言葉で生き生きと発表できたこと、とても良かった。来年度以降も継続して欲しい。
- 他の学校の子どもたちや高校生サポーター、プロジェクトを支える方々と、触れ合う機会を設けていただいたので、コミュニケーション能力の向上が図れたと感じた。

キックオフ・イベント《5/13(土)すわっチャオ》



緊張の記念写真



SDGsとは？

☆お互いに知り合い、問題意識を共有し



チームビルディング



SDGsクイズに挑戦

(1) 2023年(令和5年) 5月14日 日曜日 古紙100%使用

脱炭素 共に探究

諏訪市の小中学生が学校や学年を超えて学び合う「すわ未来創造『子どもゆめプロジェクト』」(通称「ゆめプロ」)のキックオフイベントが13日、同市駅前交流アラスすわっチャオであり、小学生10人と中学生2人が探究的な学びをスタートさせた。野外での体験や調査活動を通じて「ゼロカーボンシティの実現」のために何ができるのかを考え、11月25日に市長と教育長に提言する。市と市教育委員会の新規事業で、基本理念に「誰もが輝き、誰もが幸せな時代を切り拓き、つながり続ける学びの和」を掲げる教育大綱(2023、26年度)に基づいて、三輪晋一教育長が発表した。探究する学びの楽しさを伝え、一人ひとりが自分らしく学びを市内各校に広げていく狙いがある。

第1期生は中洲小と豊田小、城南小、四賀小、上諏訪小の5、6年生10人と、上諏訪中と諏訪南中の1、2年生2人。一緒に活動するサポ-

諏訪市 小中学生12人「ゆめプロ」始動

13人の高校生は、諏訪清陵高校から13人、諏訪葉高校から2人が参加した。11月まで全11回開き、諏訪湖や霧ヶ峰でのフィールドワークや会議を通じてSDGや脱炭素について学び、課題の解決策を仲間とともに考える。

初回の13日は、ボシ@ラボ(松本市)代表でSDGsに詳しい丸山亜希さん(下諏訪町出身)とウオーキングインストラクターの丸山勇人さんを進行役を迎え、5班に分かれて自己紹介を行い、SDGsクイズにも挑戦。楽しみながら親ほくを深め、資源の枯渇や気候変動、少子高齢化などの現状に理解を深めた。金子ゆかり市長は「未来に向かって自ら考え、行動するプロジェクトです。地球のために何ができるのか、みんなの知恵を期待して待っています」とあいさつ。中洲小6年の長尾健之介君(12)は「SDGsのことに興味があつて参加した。いろんな学校の人に会えるのが楽しみ。こみのないきれいな社会にするにはどうすればいいのかここで学び、みんなと一緒に考えたい」と抱負を語った。(唐沢宏)

ボールを使ったゲームで参加理由を語り合い、交流を楽しむ「ゆめプロ」の小中学生たち

R5.5.14(日)
長野日報社

プレランニング①《5/20(土)すわっチャオ》

☆ クイズやゲームで問題を知る

「ゼロカーボンやSDGsを達成するには、環境が土台で、その上に社会、またその上に経済があり、その3つ全てを考え行動する事が大事だと思った」



「お金や時間など、一部の事だけを見ていると、その裏でまったく予想していない事が起こるのが、ゲームして分かった！」



「イマココラボ2030SDGsゲーム」

プレランニング②《5/20(土) 於:諏訪市森林体験学習館》

「質問」ともっと友達になろう



諏訪市の「ゼロカーボンシ
ティの取組は？」
市環境課 茅野貴之さん

「どのように問いを立て
るのか？」

アドバイザー
荒井 英治郎さん



・「考える」ことについて考えられた。自分が見ていることは、ほんの一部で、自分から進んで物事を考えなければ、自分の「答え」を見付けること事は出来ないのだと分かった

・「ゼロカーボン」は、環境だけではなく、社会、経済など色々なことにメリットがあるが、予想以上にすごかった。

フィールド・ワーク①《6/17(土) 於:霧ヶ峰自然保護センター》



R5.6.18(日)
長野日報

- ・とても問題なんてなさそうな所でも、外来種等も含め課題がありました。

フィールド・ワーク②《7/8(土) 於:諏訪湖ヨットハーバー 初島周辺 他》



- ・ ヒシはとても重くて持ち上げるのが大変
- ・ ヒシは多くても少なくてもだめ。ちょうど良い量ってどの位!?
- ・ ゴミ拾いもしたが、たくさんのゴミがあってびっくりした!
- ・ ヒシが水面を覆っていてビックリ!
- ・ どうやってヒシを減らそうかと思った。



探究活動①～⑤《7/15(土)～11/11(土) 於:すわっチャオ、市公民館他



「ゼロカーボン(SDGs)の取り組みの現状」

企業でのゼロカーボンの取組	セイコーエプソン(株) 地球環境戦略推進室
諏訪湖の環境に関わる取組	長野県諏訪地域振興局環境課(諏訪湖環境改善担当)
食品ロスと生ゴミのリサイクル	諏訪市市民環境部環境課



みつばち講座
～富士見ミツバチ
タウン化計画～



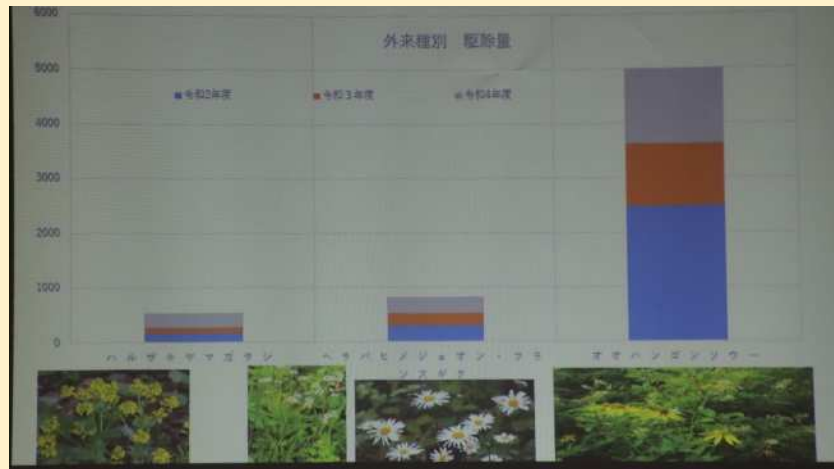
- ・サポーターの方や友達から意見をもらい、新たな発見ができた。
- ・もらったアドバイスや養蜂部の方のプレゼンテーションのコツを意識して、提言の内容も考えていきたい。

市長への提言《11/25(土) 於:すわっチャオ

提言のテーマ

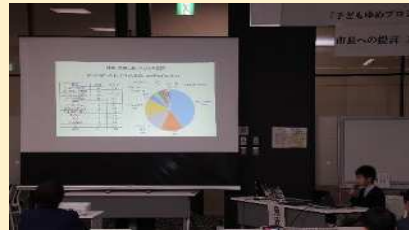
- 1 諏訪湖のゴミを減らすために私たちができること
～諏訪湖のプラスチックゴミ問題からSDGsを考える～
- 2 諏訪湖の現状と浄化について
- 3 諏訪湖に生息する生き物を守る
- 4 霧ヶ峰を外来種から守るため
- 5 地産地消エネルギー SUWAKO天然ガス発電船
- 6 ヒシの有効活用に関する提言
- 7 ペットボトルリサイクル推進のために
- 8 みんなでつくるきれいな諏訪湖
- 9 霧ヶ峰の外来種を減らすには
- 10 霧ヶ峰の自然を守るためには





K君の歩みから

“諏訪湖のゴミを減らすために私たちができること” ～諏訪湖のプラスチックゴミ問題からSDGsを考える～



見通しをもつ

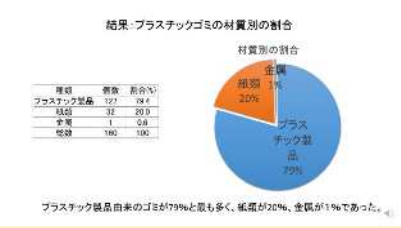
伝える

話し合う

表現する



まとめる



K君の歩みから

一つ一つの体験・活動でも…



見通しをもつ

◦問いをもつ

伝える

◦考えを深める

◦考えを説明する

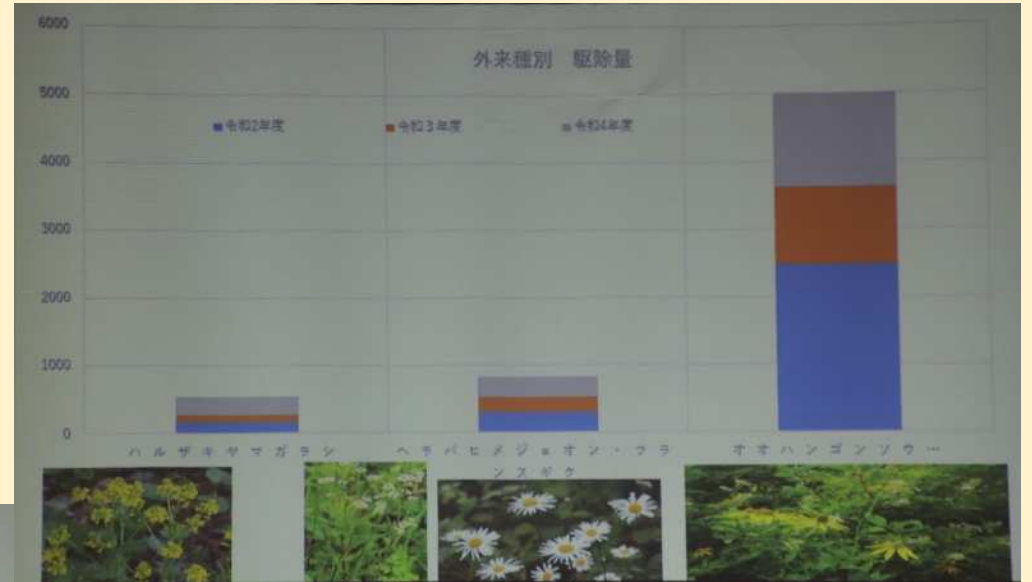
話し合う

表現する

◦考えを整理する

◦考えを表現する

まとめる



ありがとうございました。

未来創造ゆめスクールプランに基づく 小中一貫教育の取組

直面する課題に対して企業や大学等と連携した先導的な実践研究を行い、その成果を市内全ての小中学校に普及させ、新たな時代を切り拓く学校教育へのアプローチを確かにする。

諏訪市教育委員会

令和5年度 先導的な実践研究の推進

ミッション(研究課題)	推進校区
<p>◦探究的な学び推進 子どもが問いを立て、探究する授業や学校づくりの実践研究</p>	<p>上諏訪中学校区 《上諏訪小・ 上諏訪中》</p>
<p>◦プログラミング教育推進 大学(諏訪東京理科大)との連携によるカリキュラムの実践研究</p>	<p>諏訪中学校区 《城南小・諏訪中》</p>
<p>◦児童生徒への支援教育推進 企業(LITALICO)との連携等による児童生徒への支援教育の実践研究</p>	<p>諏訪西中学校区 《豊田小・湖南小・ 諏訪西中》</p>
<p>◦スクールDX推進 遠隔授業システムによる小中一貫した教科指導(算数数学)の実践研究</p>	<p>諏訪南中学校区 《四賀小・中洲小・ 諏訪南中》</p>

ミッション：探究的な学び

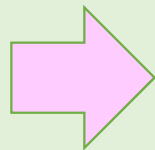
東部地区第Ⅰ期 施設併設(隣接)型 上諏訪中学校区

教育目標：“自らを拓き、未来を生きる”

☆ 「自己との対話」「他者との対話」を繰り返し、解決の糸口を探る学び



教職員も定期的に、
相互に授業を参観し、
意見交換



委員会や小・中学生同士の
かかわりやつながりを更に深めたい。

小中学生関係なく、心のつながりができる企画をしたい！

笑顔あふれ合同レク



上諏訪小中全員集合



☆ 心のキヨリが短くなった！



三役で合同レクの企画
前期中学生、後期小学生



外でみんなで食べる給食
は格別！交流給食



合同で通学路の
落ち葉拾い

ミッション：プログラミング教育

東部地区第Ⅱ期 施設分離型 諏訪中学校

教育目標：“自ら学び、認め合い、未来を創る”

☆9ヶ年を通して「プログラミング的思考を育む※」

※児童生徒が、プログラミングを体験しながら、コンピューターに意図した処理を行わせるために、必要な論理的思考を身に付けさせるための学習活動



“もし、火を使っているとき地震が起こったら？”
フローチャートを使って。
(小4)



“人がいる時だけライトを点灯させるには？”
スクラッチで磁気センサーのプログラミング
(小6)



“障害物を察知して停止するには？” 自動運転するロボットのプログラムをつくる。
(中3)

☆「これはネ」学習ボランティアでも活躍



「やる気や自信がもてた！」ステップアップタイムに中学生も一役

😊「ステップアップタイムでは、わからないとすぐ来てくれて、答えを教えるんじゃなくてヒントを教えてくれて、楽しかったです。」(小学生)



中学生の堂々として、そして温かいあいさつに、小学生も応えます



中学生もドキドキ?!の読み聞かせ



一緒に人権教育講演会(諏訪中にて)

ミッション：児童生徒への支援教育

西部地区 施設分離型 諏訪西中学校

教育目標：“社会の中で、私もみんなも「幸せ」になる”

☆「LITALICO教育ソフト」の導入
デジタルの活用、働き方改革にもつながる

導入効果として

- ・「アセスメント」による児童生徒の困り感の具体化
- ・「個別の指導・支援計画」作成の負担軽減
- ・特別支援教材の作成負担の軽減
- ・特別支援教材の豊富さ
- ・学校全体で特別支援教育の理解を深められる等



まなびプラン

- ・アセスメント機能あり
- ・約6,000の文例あり
- ・日々の指導ともつながる



まなび教材

- ・約7,000点の教材あり
- ・スモールステップを意識



まなび動画

- ・特別支援の基礎や実践方法を学べる動画60本あり
- ・校内研修セットあり

☆「認知機能強化トレーニング」



朝のトレーニングの時間

“覚える” “数える” “写す”
“見つける” “創造する” など

- ☺ 図形が回転する問題が苦手だけど、何度もチャレンジしたらできるようになってきました。
- ☺ 「さがし算」12になる数字の組み合わせを見つけることが難しいけど、前より見つけられるようになりました。



算数の授業

☆いろんなことやっているんですネ！



3校合同ミーティング

😊「緊張して始まったけど、中学生がリードしてくれたので、小学校からも提案することができて嬉しかったです。」
(小学生)



それぞれの学校での活動の様子を、掲示板で紹介



ミッション：スクールDX

南部地区 施設分離型 諏訪南中学校

教育目標：“自分と友だちを大切にし、夢に向かってあゆむ”



2校合同授業：道徳

😊「オンラインでも説明ややり方などしっかりわかりました。」
😊「困った時に、直ぐに先生に聞けないのが、ちょっと難しかったけれど、楽しくできました。」



異学年交流授業

☆「とどけ私たちのメッセージ」



高齢者の皆さんをはげましたい、
一人暮らし“約300世帯”に

😊 四賀小のAさんへ(抜粋)

お手紙ありがとうございます。嬉しかったです。私の子ども二人も四賀小の卒業生です。今年は、久しぶりにいろいろな行事ができて楽しかったですね。これからも楽しい学校生活を送ってね。このお手紙は私の宝です。大切にします。ありがとうございます。



中学生が試作した木工
玩具で遊んだ感想は?!



小学生にプレゼントとされた木工玩具。
中学生の技能の高さに驚き!!

人・地域とのつながり・学びの深まりを目指す子どもたち！

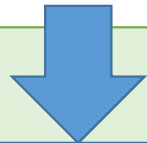


単元内自由進度学習の取組

“自由進度学習とは”

子ども自身が一人一人に合わせた学習のし方や内容を選ぶ、子ども(学習者)を主体においた学習

学びたい順番や内容を自分で考え、学習計画を立てる最初に示される、単元のねらいや(内容)から、どこからやるのか、プリントで学ぶか、教科書で学ぶか、タブレットで学ぶか、友達と学ぶのか等々、学習内容と学習方法を選択して学びを進める。



目指す子どもたちの姿 (諏訪市教育大綱より)

皆が一緒に同じペースで同じことを行なうことよりも、多様な個性や自立した個が尊重され、つながりあいながら対話や議論により、新たな価値を生み出していくこと。

児童自身が計画立て自分のペースで学ぶ

「自由進度学習」評価と課題と

諏訪・城南小で授業公開

児童が学習計画を立て自分
のペースで学習を進める「単
元内自由進度学習」を本年度
から導入している諏訪市城南
小学校で11日、授業が公開さ
れた。県内外から教育関係者
約90人が参加。児童たちが国
語や算数の課題に取り組み様
子を見学し、授業後の研究会
で評価できる点や課題につい
て意見交換した。



テーブルを囲んで学習する5年生。算数と
国語の課題に取り組み児童が同じテー
ブルで学ぶ

児童が学習計画を立て自分
のペースで学習を進める「単
元内自由進度学習」を本年度
から導入している諏訪市城南
小学校で11日、授業が公開さ
れた。県内外から教育関係者
約90人が参加。児童たちが国
語や算数の課題に取り組み様
子を見学し、授業後の研究会
で評価できる点や課題につい
て意見交換した。

この日、児童たちはソファ
に座ってパソコンに文章を打
ち込んだり、数人でテーブル
を囲んで課題に取り組みたり
した。仕切りのある机で一人
で取り組む児童もいた。
5年の渡辺力愛さん(11)は
国語の課題にじっくり取り組
みたいと考え、算数の課題を
先に終わらせた。「普段の授
業と違い、自分のペースで進
められるし、理解できるまで
取り組めるから良い」と話し
ていた。

研究会では参加者意見を
交わした。「自分で計画し
て解決することで、自己肯定
感が高まる姿が見られたと
いう評価の一方、「答えがわ
けが難になり学びの定着が不
十分になる」「学力差で学
習の進れが生まれる」とい
った懸念の声も聞かれた。

長野市内の小学校の男性教
頭は取材に「自分で目標を見
据えながら取り組む姿が見ら
れたと受け止めた。どの子
も理解できるような資料作り
が必要になるとし、手間がか
かるため、教員の働き方改革
の面で課題」と話した。

R5. 12. 12(火)
信濃毎日新聞社

城南小学校での授業の様子



正面のタブレットには、困った時に、担任が作成した、ヒントとなる情報が入っており、いつでも活用…

☆児童の声

- 自分のペースに合わせて勉強したり、聞きたいときに友だちにきくことが出来たりして、学びを深めていけたと思う。
- 自分のペースで学べ、分からないところをゆっくりと考えられ良かった。
- 必須課題を終わらせるのに精一杯でした。

☆教員の声

- 友だちとの違いを気にしなくなるので、一人で考えることができるようになったと感じる。
- 自分に合った学習方法で進めることができ、自分のペースで進められるのが良い。
- つまづきがあったとき、自分で解決できずにいる児童にどう支援するか

- ☆自己調整力
- ☆モチベーションを高め学習意欲の向上
- ☆自分で考える姿勢 等

上諏訪小学校での授業の様子



必要な情報も、自分で



学習スペースも、学習の
進め方も自分のペースで

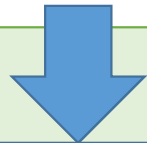
ありがとうございました。

単元内自由進度学習の取組

“自由進度学習とは”

子ども自身が一人一人に合わせた学習のし方や内容を選ぶ、子ども(学習者)を主体においた学習

学びたい順番や内容を自分で考え、学習計画を立てる最初に示される、単元のねらいや(内容)から、どこからやるのか、プリントで学ぶか、教科書で学ぶか、タブレットで学ぶか、友達と学ぶのか等々、学習内容と学習方法を選択して学びを進める。



目指す子どもたちの姿 (諏訪市教育大綱より)

皆が一緒に同じペースで同じことを行なうことよりも、多様な個性や自立した個が尊重され、つながりあいながら対話や議論により、新たな価値を生み出していくこと。

児童自身が計画立て自分のペースで学ぶ

「自由進度学習」評価と課題と

諏訪・城南小で授業公開

児童が学習計画を立て自分のペースで学習を進める「単元内自由進度学習」を本年度から導入している諏訪市城南小学校で11日、授業が公開された。県内外から教育関係者約90人が参加。児童たちが国語や算数の課題に取り組みの様子を見学し、授業後の研究会で評価できる点や課題について意見交換した。



テーブルを囲んで学習する5年生。算数と国語の課題に取り組み児童が同じテーブルで学ぶ

児童が学習計画を立て自分のペースで学習を進める「単元内自由進度学習」を本年度から導入している諏訪市城南小学校で11日、授業が公開された。県内外から教育関係者約90人が参加。児童たちが国語や算数の課題に取り組みの様子を見学し、授業後の研究会で評価できる点や課題について意見交換した。

この日、児童たちはソファに座ってパソコンに文章を打ち込んだり、数人でテーブルを囲んで課題に取り組みたりしていた。仕切りのある机で一人取り組む児童もいた。5年の渡辺力愛さん(11)は国語の課題にじっくり取り組みたいと考え、算数の課題を先に終わらせた。「普段の授業と違い、自分のペースで進められるし、理解できるまで取り組めるから良い」と話していた。

研究会では参加者意見を交わした。「(自分で計画して解決することで)自己肯定感が高まる姿が見られた」という評価の一方、「答え合わせが難になり学びの定着が不十分になる」「学力の差で学習の進れが生まれる」といった懸念の声も聞かれた。

長野市内の小学校の男性教頭は取材に「自分で目標を見据えながら取り組む姿が見られたと受け止めた。どの子どもも理解できるような資料作りが必要になるとし、手間がかかるため、教員の働き方改革の面で課題」と話した。

R5. 12. 12(火)
信濃毎日新聞社

城南小学校での授業の様子



正面のタブレットには、困った時に、担任が作成した、ヒントとなる情報が入っており、いつでも活用…

☆児童の声

- 自分のペースに合わせて勉強したり、聞きたいときに友だちにきくことが出来たりして、学びを深めていけたと思う。
- 自分のペースで学べ、分からないところをゆっくりと考えられ良かった。
- 必須課題を終わらせるのに精一杯でした。

☆教員の声

- 友だちとの違いを気にしなくなるので、一人で考えることができるようになったと感じる。
- 自分に合った学習方法で進めることができ、自分のペースで進められるのが良い。
- つまづきがあったとき、自分で解決できずにいる児童にどう支援するか

- ☆自己調整力
- ☆モチベーションを高め学習意欲の向上
- ☆自分で考える姿勢 等

上諏訪小学校での授業の様子



必要な情報も、自分で



学習スペースも、学習の
進め方も自分のペースで

ありがとうございました。

1 諏訪市教育大綱に基づく令和5年度の取組について

(4) ゆめスクールプラン
南部地区推進委員会
検討状況報告

(4)ゆめスクールプラン南部地区推進委員会 検討状況報告

第1回 8/24(木) 於：諏訪市役所

再編整備の考え方と今後の進め方が決まりました。

- ・ 四賀小学校、中洲小学校、諏訪南中学校を含む南部地区3校を中心的な対象として、現在の諏訪南中学校の敷地を活用し、施設一体型小中一貫校として再編・整備することを目指す。
- ・ まずは学校の建設に関する協議を進め、令和6年夏を目途に基本構想の策定を目指す。



(4)ゆめスクールプラン南部地区推進委員会 検討状況報告

第2回 10/24(火) 於：四賀小学校

グループワークで、
課題と解決のためのアイデアを探りました。



グループワークの内容 (一部。赤字：解決のためのアイデア)

○施設

- ・地域の人が使える校舎、交流スペースの設置
- ・多様な子どもたちに対応できる校舎の整備
- ・休日の学校開放(図書館、体育館、校庭) 他
- ⇒2階建て体育館の設置(1F小学生、2F中学生)
- ⇒壁を可動式
- ⇒教室を区切らずオープンスペースにする 他

○人間関係

- ・人間関係の固定化、いじめ対策、先生への不安
- ⇒ソフト面の充実(スクールロイヤー、スクールカウンセラー、支援員の配置、上級生によるメンター制の導入)
- ⇒1~2名の少人数が学習できる部屋や相談室の設置 他



(4) ゆめスクールプラン南部地区推進委員会 検討状況報告

第3回 12/15(金) 於：中洲小学校

長野県教育委員会の高校再編・整備の進め方を学びました。

これからの学びと、それにふさわしい教育環境のあり方について、共通認識を得た。

基本構想策定に向け、具体的な内容を検討する「ワーキンググループ」の設置を決定しました。

- ・ Iグループ：目指す学校像、学校の特色、地域連携など「ソフト面」
- ・ IIグループ：学校施設、設備、機能、環境整備など「ハード面」

(4) ゆめスクールプラン南部地区推進委員会 検討状況報告

今後の予定

「新しい学校をつくるためのアンケート」実施

対象：市立小中学校に通学する四賀・中洲地区在住の児童・生徒
内容：新しい学校に望む施設や学び

ワーキンググループでの検討

上記アンケート結果も踏まえた検討

→推進委員会へ報告

(4) ゆめスクールプラン南部地区推進委員会 検討状況報告

情報発信

ゆめスクールプラン南部地区推進委員会だよりの発行

市ホームページで公開
四賀・中洲地区への回覧

諏訪市ホームページ

「諏訪市学校再編推進委員会（南部地区）の活動について」

会議資料、会議結果の随時公開

未来創造ゆめスクールプランリーフレットの発行

市ホームページで公開
全戸配布